平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名　サンコール株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5985　URL http://www.suncall.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山主　千尋
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　業務・管理部門長　(氏名) 杉村　和俊　TEL 075-881-5280
四半期報告書提出予定日　平成27年11月12日　配当支払開始予定日　平成27年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	18,385	5.5	1,194	△2.2	1,298	△12.1	805	△19.2
27年3月期第2四半期	17,429	2.2	1,220	△30.9	1,477	△29.5	997	△29.0

(注)包括利益　28年3月期第2四半期　464百万円　(△41.6%)　27年3月期第2四半期　796百万円　(△64.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	25.39	25.10
27年3月期第2四半期	31.44	31.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	43,912	34,075	77.3	1,069.40
27年3月期	44,903	33,901	75.2	1,065.07

(参考)自己資本　28年3月期第2四半期　33,926百万円　27年3月期　33,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
28年3月期	—	8.00			
28年3月期(予想)			—	10.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	3.3	2,400	△6.2	2,000	△40.3	1,400	△34.7	44.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	34,057,923 株	27年3月期	34,057,923 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,333,240 株	27年3月期	2,348,337 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	31,715,583 株	27年3月期2Q	31,714,293 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5

３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

４．海外売上高 …… 12

※当社は、11月に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

《全般的概要》

［経営及び事業環境］

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、主に輸出関連企業の業績や雇用環境に改善が見られ、緩やかな回復が続きました。世界経済は、米国では雇用市場の改善が続くなか個人消費は堅調に推移し、欧州では輸出が経済成長を下支えしました。タイでは緩やかな成長を維持しましたが、中国では過剰生産調整等により景気が減速したことから、その他のアジア地域では対中輸出が伸び悩み総じて経済成長は鈍化しました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界は、国内市場は昨今の増税の影響等により販売台数が低迷し、中国では減速感があったものの底堅く推移し、米国市場では好調な販売が持続しました。

［連結業績］

このような環境の下、当社グループの売上高はＨＤＤ用サスペンションでは第２四半期以降にＨＤＤ市場の需要低迷等により減少しましたが、米国と中国での自動車関連製品及びベトナムでのプリンター関連製品の販売が好調に推移し、183億85百万円（前年同期比5.5％増）となりました。

利益面では新会社量産準備費用及び不採算製品の受注増とその原価改善遅れ等によるマイナス要因が増収効果を上回り、営業利益は11億94百万円（同2.2％減）、経常利益は前年度に円安基調により発生した為替差益がなくなり12億98百万円（同12.1％減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は関係会社投資損失等により８億５百万円（同19.2％減）となりました。

《セグメントの業績》

［日本］

自動車関連の売上は国内市場の販売台数が低迷した影響を受けましたが、輸出面では販売が堅調に推移し円安効果もあった結果、前年同水準となりました。ＨＤＤ用サスペンションでは、第２四半期に入りＨＤＤ市場の需要低迷の影響等により販売は減少しました。

結果として、日本セグメントの売上高は127億73百万円（前年同期比2.9％減）、セグメント利益は不採算品の受注増とその原価改善遅れ等により11億16百万円（同10.2％減）となりました。

［北米］

北米子会社では光通信部品の販売は低迷しましたが、自動車関連製品のエンジン用やミッション用部品の旺盛な需要が続いたことにより北米セグメントの売上高は23億81百万円（前年同期比36.1％増）となりました。利益面では、光通信部品の販売不振、自動車関連製品の増産対応やメキシコ子会社での量産稼働準備等の費用が膨らみ72百万円のセグメント損失（前年同期は１百万円のセグメント損失）となりました。

［アジア］

香港子会社のプリンター及びデジトロ関連製品の販売は顧客の在庫調整等の影響を受けて低迷しましたが、ベトナム子会社では主力製品のプリンターローラーが伸長しました。タイ子会社ではタイ国内の自動車生産・販売台数が低迷し続けたため受注減となりましたが、プリンターローラーの販売が伸びたことにより増収となりました。また、中国子会社ではエンジン用やミッション用部品ともに好調を維持し大幅な増収増益となりました。

結果として、アジアセグメントの売上高は46億93百万円（前年度同期比24.3％増）となり、セグメント利益は増収や原価改善の効果により４億86百万円（同61.0％増）となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第２四半期連結累計期間 自 平成26年４月１日 至 平成26年９月30日		当第２四半期連結累計期間 自 平成27年４月１日 至 平成27年９月30日		増　減	
	金　額	構成比	金　額	構成比	金　額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	2,097	12.0	2,200	12.0	103	4.9
精密機能部品	10,020	57.5	11,017	59.9	997	9.9
サスペンション	2,204	12.6	1,979	10.8	△224	△10.2
プリンター関連	1,824	10.5	2,228	12.1	404	22.2
デジトロ精密部品	1,006	5.8	899	4.9	△107	△10.6
その他製品	277	1.6	59	0.3	△217	△78.4
合　計	17,429	100.0	18,385	100.0	955	5.5

［精密機能材料］

精密機能材料は、輸出取引では主として弁ばね材料の販売が堅調に推移したことによって国内販売の落込みを補い、売上高は円安効果もあり22億円（前年同期比4.9%増）となりました。

［精密機能部品］

精密機能部品は、国内では自動車販売台数低迷の影響を受けましたが、海外では北米及び中国子会社はエンジン用やミッション用部品の販売が伸長しました。結果として、売上高は110億17百万円（前年同期比9.9%増）となりました。

［サスペンション］

ＨＤＤ用サスペンションは、第２四半期に入りＨＤＤ市場の需要が減少した影響や新規生産ラインの立上げが遅れたこと等により、売上高は19億79百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

［プリンター関連］

プリンター関連製品は、香港子会社での販売は伸び悩みましたが、ベトナム及びタイ子会社のローラー販売が好調に推移し、売上高は22億28百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

［デジトロ精密部品］

デジトロ精密部品は、香港子会社ではＯＡ機器用部品において顧客の在庫調整の影響を受け、また北米子会社では光通信部品の販売不振の状況が続いた結果、売上高は８億99百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

［資産］

総資産は、439億12百万円（前連結会計年度末比９億91百万円減）となりました。これは主に、機械装置及び運搬具等の有形固定資産が７億47百万円、仕掛品が６億17百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が５億68百万円、投資有価証券が株価の下落等により６億２百万円、現金及び預金が設備投資等により９億98百万円減少したこと等によります。

［負債］

負債は、98億36百万円（前連結会計年度末比11億66百万円減）となりました。これは主に、未払法人税等が１億81百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が７億81百万円減少したこと等によります。

［純資産］

純資産は、340億75百万円（前連結会計年度末比１億74百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金が配当により３億17百万円減少しましたが親会社株主に帰属する四半期純利益により８億５百万円増加したほか、その他有価証券評価差額金が４億９百万円減少、為替換算調整勘定が69百万円増加したこと等によります。

②当期キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ９億98百万円減少し、当第２四半期連結会計期間末には82億57百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

［営業活動によるキャッシュ・フロー］

営業活動によるキャッシュ・フローは、15億31百万円の収入（前年同期比４億44百万円の収入増）となりました。主な増加要因としては、税金等調整前四半期純利益（12億14百万円）、減価償却費（10億35百万円）、売上債権の減少（６億17百万円）等があり、主な減少要因としては、たな卸資産の増加（６億75百万円）、法人税等の支払（５億76百万円）があったこと等によります。

［投資活動によるキャッシュ・フロー］

投資活動によるキャッシュ・フローは、25億80百万円の支出（前年同期比12億74百万円の支出増）となりました。これは主に固定資産の取得による支出が25億84百万円あったこと等によります。

［財務活動によるキャッシュ・フロー］

財務活動によるキャッシュ・フローは、83百万円の収入（前年同期は３億83百万円の支出）となりました。これは、主に配当金の支払（３億16百万円）による支出に対し、セール・アンド・リースバックによる収入（３億93百万円）があったこと等によります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年３月期の連結業績予想につきましては、第２四半期に落ち込んだＨＤＤ用サスペンション受注の回復および一部の不採算製品の原価改善に時間を要することが予想され、売上高、営業利益が下振れする見込みとなりました。また期初においては連結業績に与える影響は軽微と計画しておりました海外合弁事業の立上げが大幅に遅れたことに伴い、第３四半期以降の業績も下振れするため持分法投資損失を計上する見込みです。以上を踏まえ、平成27年５月14日に公表いたしました業績予想から下記のとおり修正しております。詳細につきましては、本日（平成27年11月５日）発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成28年３月期の連結業績予想（平成27年４月１日～平成28年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（Ａ）	40,000	3,200	3,200	2,200	69.38
今回修正予想（Ｂ）	37,000	2,400	2,000	1,400	44.14
増減額（Ｂ－Ａ）	△3,000	△800	△1,200	△800	
増 減 率 （ ％ ）	△7.5	△25.0	△37.5	△36.4	
（ご参考）前期実績（平成27年３月期）	35,816	2,557	3,352	2,143	67.58

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成25年９月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成25年９月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成25年９月13日）等を第１四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,405	8,407
受取手形及び売掛金	8,043	7,474
商品及び製品	1,410	1,325
仕掛品	1,519	2,136
原材料及び貯蔵品	1,544	1,716
その他	1,069	802
流動資産合計	22,992	21,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,069	4,008
機械装置及び運搬具（純額）	6,051	6,431
その他（純額）	4,999	5,428
有形固定資産合計	15,120	15,868
無形固定資産	229	282
投資その他の資産		
投資有価証券	6,145	5,543
その他	512	521
関係会社投資損失引当金	△97	△168
投資その他の資産合計	6,560	5,896
固定資産合計	21,910	22,047
資産合計	44,903	43,912
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,516	4,413
短期借入金	－	45
1年内返済予定の長期借入金	－	26
未払法人税等	510	329
役員賞与引当金	－	10
賞与引当金	393	413
その他	3,485	2,646
流動負債合計	8,906	7,885
固定負債		
長期借入金	409	390
退職給付に係る負債	58	53
その他	1,627	1,507
固定負債合計	2,095	1,951
負債合計	11,002	9,836

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成27年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成27年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,744	2,744
利益剰余金	22,998	23,487
自己株式	△900	△894
株主資本合計	29,650	30,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,804	2,395
繰延ヘッジ損益	－	0
為替換算調整勘定	924	994
退職給付に係る調整累計額	392	391
その他の包括利益累計額合計	4,122	3,781
新株予約権	128	149
純資産合計	33,901	34,075
負債純資産合計	44,903	43,912

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
売上高	17,429	18,385
売上原価	14,074	14,826
売上総利益	3,355	3,559
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	359	373
報酬及び給料手当	596	648
役員賞与引当金繰入額	7	10
賞与引当金繰入額	77	86
退職給付費用	48	42
その他	1,045	1,204
販売費及び一般管理費合計	2,134	2,364
営業利益	1,220	1,194
営業外収益		
受取配当金	64	63
物品売却益	48	41
為替差益	123	－
その他	22	39
営業外収益合計	260	144
営業外費用		
支払利息	0	9
為替差損	－	25
その他	3	6
営業外費用合計	3	40
経常利益	1,477	1,298
特別利益		
その他	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産廃棄損	22	11
関係会社投資損失引当金繰入額	－	71
その他	0	2
特別損失合計	22	85
税金等調整前四半期純利益	1,456	1,214
法人税、住民税及び事業税	449	391
法人税等調整額	9	17
法人税等合計	459	409
四半期純利益	997	805
親会社株主に帰属する四半期純利益	997	805

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
四半期純利益	997	805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	△409
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	△495	69
退職給付に係る調整額	11	△0
その他の包括利益合計	△200	△340
四半期包括利益	796	464
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	796	464
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成26年４月１日 至　平成26年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,456	1,214
減価償却費	920	1,035
引当金の増減額（△は減少）	34	101
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△147	△6
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	136	△4
受取利息及び受取配当金	△69	△67
支払利息	0	9
固定資産廃棄損	22	11
売上債権の増減額（△は増加）	△702	617
たな卸資産の増減額（△は増加）	△308	△675
仕入債務の増減額（△は減少）	528	△100
その他	△264	△85
小計	1,605	2,049
利息及び配当金の受取額	68	67
利息の支払額	△0	△9
法人税等の支払額	△586	△576
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,086	1,531
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,310	△2,584
固定資産の売却による収入	2	3
貸付金の回収による収入	1	0
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,306	△2,580
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	44
リース債務の返済による支出	△33	△42
セール・アンド・リースバックによる収入	－	393
配当金の支払額	△348	△316
自己株式の処分による収入	－	6
自己株式の取得による支出	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△383	83
現金及び現金同等物に係る換算差額	△139	△32
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△742	△998
現金及び現金同等物の期首残高	10,409	9,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,667	8,257

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	アジア	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	12,183	1,748	3,497	17,429	－	17,429
セグメント間の内部売上高又は振替高	975	1	279	1,255	△1,255	－
計	13,158	1,749	3,777	18,685	△1,255	17,429
セグメント利益又は損失（△）	1,243	△1	301	1,543	△322	1,220

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△322百万円には、セグメント間取引消去△７百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△315百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	日本	北米	アジア	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	11,575	2,376	4,433	18,385	－	18,385
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,198	5	259	1,463	△1,463	－
計	12,773	2,381	4,693	19,848	△1,463	18,385
セグメント利益又は損失（△）	1,116	△72	486	1,530	△336	1,194

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△336百万円には、セグメント間取引消去△７百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４．海外売上高

前第２四半期末連結累計期間（自　平成26年４月１日　至　平成26年９月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高（百万円）	2,298	285	6,316	157	9,057
Ⅱ　連結売上高（百万円）					17,429
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	13.2	1.6	36.2	0.9	52.0

当第２四半期末連結累計期間（自　平成27年４月１日　至　平成27年９月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高（百万円）	3,037	283	6,804	157	10,283
Ⅱ　連結売上高（百万円）					18,385
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.5	1.5	37.0	0.9	55.9

（注）１　国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２　本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……米国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……ドイツ、スイス

(3) アジア……中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール、フィリピン

(4) その他の地域……ブラジル

３　海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。